

東洋ビジネスエンジニアリング 株式会社様

b-en-g

Web メールサービスのセキュリティを強化 制御機器からの SMTP リレーが選択の決め手

b-en-g

Toyo Business Engineering Corporation

B-EN-G は、「ものづくり日本」の飛躍のために、お客様の業務改革と事業の発展に貢献するソリューションをワンストップで提供しているビジネスエンジニアリング会社です。生産・物流・販売を始めとするロジスティクス系ソリューションを、事業環境により絶え間なく変化するお客様ニーズに合わせて提供することを得意としています。

日本で最初に ERP 導入支援プロジェクトを成功させて以来、SAP、Oracle、MCFrame などの導入を通じて、国内の ERP 市場をリードしてきました。その高い技術と、プロジェクトを成功に導くプロフェッショナリズムが高い評価を受けています。

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 (B-EN-G) について

B-EN-G は、製造業を中心に運輸・通信・金融・各種サービス業等幅広い業種にわたり、コンサルティングから、システム構築、運用・保守まで一貫したサービスをご提供し、お客様のビジネス革新を支援しております。

社名	東洋エンジニアリング株式会社
代表取締役・取締役社長	石田 壽典
創立	1999年4月1日
資本金	6億9,760万円
売上高	10,455百万円 (2010年3月期)
従業員数	529名(単体:425名) (2011年3月31日現在)
事業内容	・企業経営および情報通信システムのコンサルティング ・コンピュータネットワークの企画および開発 ・情報通信システムの企画、開発、販売およびリース
本社所在地	東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI 大手町ビル

10 台のサーバーをクラウドへ移行

B-EN-G では、仕事柄もあり、社内システムでもオープンソースや商用ソフトウェアなどを組み合わせ、足りない機能は内製で作ってしまう、といったシステムになっていました。今のシステムの移行前には、メール関連のサーバーだけで 10 台あったということです。しかし、こういった混成システムは管理が大変で、管理コストの上昇が問題となっていました。

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 経営企画本部 品質技術部 情報システムグループの佐藤 雅彦氏は「社内にエンジニアが沢山いるとはいえ、電子メールシステムの構築などは弊社のコアの業務ではありません。業務に関係のある仕事ならまだしも、関係のない仕事を社内業務として担当させるわけにもいかないので、メールシステムの管理はアウトソースなのです。」と言います。

そんな時にそれまで利用していた商用ソフトのバージョンアップに多額の費用がかかることがわかり、一気にクラウド型の Web メールサービスへの移行の話が進みました。「多額の費用をかけて同じ環境を維持するよりも、利用環境の整ってきたクラウド型 Web メールサービスに乗り換えた方が将来的にもメリットが大きいと判断したのです。初期費用も抑えることができますし、管理コストも抑えられます。」

クラウド型 Web メールサービスのセキュリティを強化

そうして、クラウド型の Web メールサービスの検討に入りました。しかし、最初からクラウド型セキュリティの導入を考えていたわけではありません。Web メールサービスにも当然セキュリティ機能はありますから、それで十分であれば、別のサービスを契約する必要は無いと考えていたからです。

しかし、結果としては Proofpoint on Demand (以下、PoD) の採用を決めました。やはりセキュリティに関しては専用ソリューションの方が安心できること、機能が豊富なこと、情報漏洩対策や誤送信対策など、将来の機能拡張にも柔軟に対応できることなどが理由です。

重要な要件だった制御機器からの SMTP リレー

「とにかく、最終的には社内にあるメールサーバーを一切無くす、という目標をたてました。一台でも残っていると結局は管理しなければなりません。SaaS の最大のメリットは管理の手間を省けることだと考えておりますので、やるなら徹底的に、と考えました。」と佐藤氏。ところが検討の途中で、意外な問題が浮上しました。通常のメールは簡単に Web メールサービスに移行できるのですが、社内の様々なシステム（監視装置やプリンタなど）が電子メールプロトコルを使って様々なメッセージを送るのです。多くの場合、こういった機器には必要最低限のプロトコルしか実装されておらず、事前認証などの手続きが必要な Web メールサービスではそういった機器からの送信要求を受けることができないことが分かったのです。そうすると、社内にそのためだけの SMTP サーバーを残さなければなりません。その点、PoD ではメール送信のための SMTP のポートが利用可能でした。「この機能のおかげで、当初の目標通り、社内のメールサーバーの完全撤去が可能になりました。他のサービスではこれができなかったんです。」

Proofpoint の利点

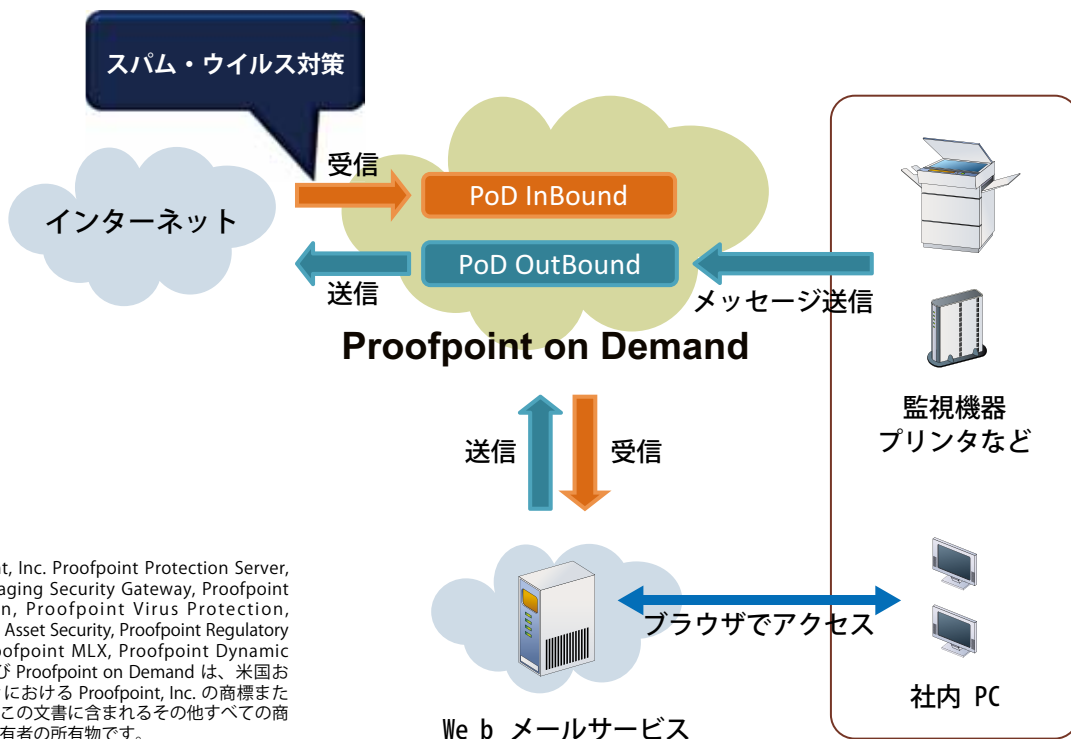
この他にも、Web メールサービスには、B-EN-G の要求に完全にフィットしない仕様もありましたが、Web メールサービスの方をカスタマイズしてもらうわけにはいきません。「Proofpoint の E メールファイアウォールは非常に高機能なので、Web メールサービスだけではできないことをカバーすることができて、大変重宝しています。」と佐藤氏。例えば、添付ファイル形式によるメール不達を回避するために添付ファイルを自動的に削除したりすることができますので、「メール関連で何か問題が起きるとまずはこれに頼るということになっています。かなり細かいことまで対応できるので、助かっています。」

また、今回、PoD を先に導入して、その後で Web メールサービスに移行するというプロセスをとったそうですが、その際のメール配信ルートの切り替えについても Proofpoint が大変役に立ったということです。通常 DNS の書き換えには時間がかかりますが、Proofpoint であれば DNS を書き換えなくても転送先をワンタッチで切り替えられるので、タイムラグが無く、安心して作業できたということです。

また佐藤氏には「使ってみて実感したんですが、スマートサーチは大変便利です。Web メールサービスへの切り替え時にユーザーから配送についての問合せがあったときにこちらでログを解析したことがあるんですが、スマートサーチが大変役に立ちました。これは事前の評価では気づかなかった点です。」ともご評価頂きました。今はインバウンド保護中心の運用ですが、今後は誤送信対策なども含めたアウトバウンド対策についても考えていきたいとのことでした。



東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
経営企画本部 品質技術部 情報システムグループ
佐藤 雅彦 氏



©2011 Proofpoint, Inc. Proofpoint Protection Server, Proofpoint Messaging Security Gateway, Proofpoint Spam Detection, Proofpoint Virus Protection, Proofpoint Digital Asset Security, Proofpoint Regulatory Compliance, Proofpoint MLX, Proofpoint Dynamic Reputation, および Proofpoint on Demand は、米国およびその他の国々における Proofpoint, Inc. の商標または登録商標です。この文書に含まれるその他すべての商標はそれぞれの所有者の所有物です。

proofpoint™

お問い合わせ

日本プルーフポイント株式会社
〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-5-2 ビュレックス麹町
TEL : 03-5210-3611, FAX : 03-5210-3615
Email : sales-japan@proofpoint.com
URL : <http://www.proofpoint.co.jp>